

**製品名:  $\alpha$ -アクチニン(4A12)マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM06376**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:100-1:500
分子量	103kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ACTN1
別名	ACTN1
遺伝子 ID	87.0
SwissProt ID	P12814
免疫原	ACTN1 の $\alpha$ -アクチニンの組換えタンパク質

**背景**

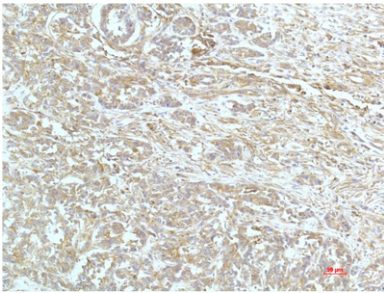
$\alpha$ アクチニンは、 $\alpha$ および $\beta$ スペクトリンやジストロフィンなど、多様な細胞骨格タンパク質からなるスペクトリン遺伝子スーパーファミリーに属します。 $\alpha$ アクチニンは、異なる細胞型で多様な役割を果たすアクチン結合タンパク質です。非筋細胞では、細胞骨格

アイソフォームはマイクロフィラメント束や接着型結合部に沿って存在し、アクチンを膜に結合させる役割を果たします。一方、骨格筋、心筋、平滑筋のアイソフォームはZ板や類似の緻密部に局在し、筋原線維アクチンフィラメントを固定する役割を果たします。この遺伝子は、非筋細胞骨格の $\alpha$ アクチニンアイソフォームをコードし、構造的に類似した赤血球 $\beta$ スペクトリン遺伝子と同じ部位にマッピングされます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq提供、2008年7月],機能: F-アクチン架橋タンパク質。アクチンを様々な細胞内構造に固定すると考えられている。これは束状タンパク質である。類似性:  $\alpha$ -アクチニンファミリーに属する。類似性: アクチン結合ドメインを1つ含む。類似性: CH (カルポニン相同) ドメインを2つ含む。類似性: EFハンドドメインを2つ含む。類似性: スペクトリンリピートを4つ含む。細胞内局在: 心臓および骨格筋のZ線において、MYO22 および PPP3CA と共局在する。サブユニット: ホモ二量体; 逆平行。DDN、MYO22、PDLIM2、TTID、LPP と相互作用する。

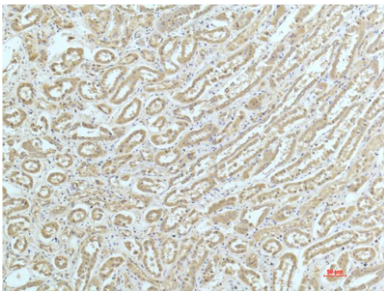
## 研究分野

接着斑;接着結合;接着結合;白血球の内皮透過移動;アクチンと細胞骨格の調節;全身性エリテマトーデス;不整脈性右室心筋症 (ARVC);

## 画像データ



1:200 に希釈した  $\alpha$ -アクチニン マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。



1:200 に希釈した  $\alpha$ -アクチニン マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。